

# 強者の戦略

2019年度 東大地理 第1問〔解答解説編〕

いかがでしたか？おおむね書きやすい問題だったと思います。気候の基本的な知識があれば設問Aはできるでしょう。メッシュマップを丁寧に読み取れば設問Bもできるでしょう。では、解答解説を始めていきます。

## 【解答】

設問A

- (1) Pーウ Qーア Rーイ
- (2) サバナ気候であるため、乾季の時にはため池を利用して灌漑農業を行い、雨季の増水を避けるために高床式の家屋を建設している。(59字)
- (3) マングローブ林。日本市場向けのエビの養殖場建設や水田などの農業用地造成、および薪炭材伐採などによって失われた。(55字)

設問B

- (1) 北西部と南東部に山地があり、南西部に海面がある。北東部から南西部にかけて谷が見られ、比較的大きな河川が海面に向かって流れている。河川付近は沖積低地があり、山地との間に台地がある。(89字)
- (2) 722/km<sup>3</sup>
- (3) 生活が困難な山地には少なく、沖積低地や台地の崖下などの水利の良い場所、水害を避けやすい自然堤防上に多く見られる。(56字)

## 【解説】

設問A

- (1) 一応 a～dの河川名を記しておく、aが長江、bがホン川、cがメコン川、dがエーヤワディー川です。次に、ア～ウの気候区分も記しますと、アが温暖湿潤気候(Cfa)、イがサバナ気候(Aw)、ウが熱帯雨林気候(Af)になります。これらの気候の特徴から図1-2を考えることはセンター8割レベルの力があれば大丈夫でしょう。

Pは年間を通して降水量が多めに一定しているので、熱帯雨林気候のウに該当します。Rは1・2月の乾季と9・10月の雨季の降水量の差が激しいのでサバナ気候であるイに該当します。残ったQがアに該当します。この問題は難なく解けて欲しいレベルです。

- (2) 一見矛盾するような事象を扱う非常に東大らしい典型問題でした。類題を下に掲載します。

この地域は、大規模な洪水が毎年起こるにも関わらず、灌漑の整備が農業生産量を大きく引き上げた。その理由を、次の語句をすべて使用して、3行以内で述べよ。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

乾季 緑の革命

[東大 2001年]

上記の問題は南アジアを題材にした問題でした。「大規模な洪水が毎年起こる」ということは、降水量が多いということ連想させます。ところが「灌漑の整備が農業生産量を大きく引き上げた」ということは、水の利用が便利ではなく乾燥していることを連想させます。この矛盾の原因は一体どこにあるのでしょうか？この問題は指定ワードがあったので素早く気づけたかも知れませんが、**雨季と乾季を含むサバナ気候である**ということが大きな原因です。雨季には洪水が多発したとしても、乾季には流量が少なくなってしまうので、灌漑設備を備えることによって農業が行えるという状況になっています。また、この地域では灌漑設備の整備によって**高収量品種の導入**が可能になって**緑の革命**につながったという流れも問われています。

さて、こういう過去問対策をしていれば、この問題に出会った時に、「あの問題と一緒にだな」と気づけるはず。「巨大なため池」は乾燥していることを連想させますが、「家屋は高床式」は降水量(流量)が多いことを連想させます。2001年の問題と一緒にです

# 強者の戦略

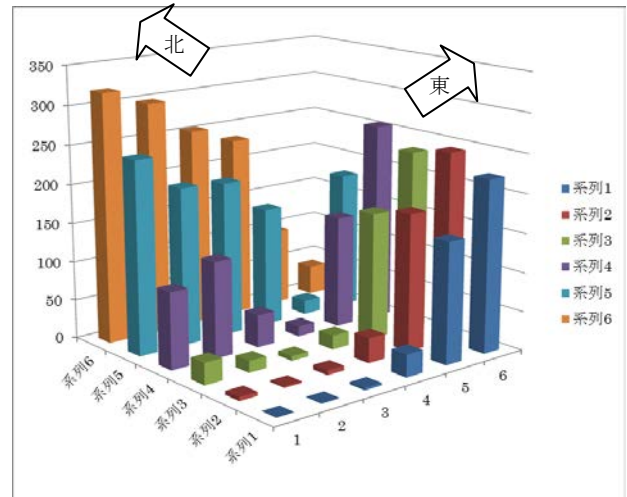
ね。しかも、今回も(1)を解く時にイ付近をサバナ気候であると考えているのでヒントにもなっています。なので、「乾季の時にはため池を利用して頑張っ水を利用してし、雨季の時には増水する河川から少しでも離れて水害を避けるために高床式の家屋にしている」という趣旨を 60 字でまとめれば正解に辿り着きます。

(3) この問題はちょっと中途半端な問題な気がします。1 行問題でも良かったんじゃないかという気がしますし、何と言っても河川 d の扱いが邪険すぎます(笑)。問題文の前半部分で使用されていますが、別にこの説明がなくても、受験生の点数に変化は見られなかったはず。ど忘れしない限り、マングローブ(林)以外の解答を書くことはまずないでしょう。そして、**日本市場などに向けてのエビの養殖池造成のためにマングローブが失われて**いっている話は有名すぎます。この段階でたぶん 2 点獲得できます。しかし、2 行問題なのです。後から点数調整のために付け足されたのでしょうか？さらにあと 30 字を要して恐らく 1 点分の記述を書くこととなります。水田などの農業用地になっているとか、薪炭材に利用されているなどの内容を書いておけば満点は取れると思います。あと、近年、マングローブ林はパルプにも加工されています。

## 設問 B

(1) なかなか面白い問題ですね。問題文に挙げられている地形を想定しながら標高メッシュマップを見れば、おおよそ外すことはないと思います。ちょっと思いついたのでエクセルデータを作ってみることにしました。右上の図をご覧ください。みなさんが想像していたような図になっていますか？北西部と南東部に山地があって、南西部には海面がありそうです。北東から南西にかけて比較的大きな河川が流れています。ここでちょっと気になるのは、問題文の例に示されている「深い峡谷があり」という言葉です。いかにも使用しなさいよ、という雰囲気はあるのですが、実際の図を見ると、北東地域が山地の

間を流れているので「谷」と言えそうですが、それより南西部は平坦地を流れていそうなので、深さを連想させる「峡谷」という言葉は使用しないようにしました。台地はとも海拔 15m~42m 辺りまでの高さ部分のことを言っているようです。



(2) またまた珍しい問題ですね。人口密度関連の東大の類題を下に示します。

この町の市街地人口は、明治期の 2 万人から昭和 35 年の 3 万人(人口集中地区人口)までは徐々に増加したが、高度成長期を迎えると東南方向(図右下方方向)にある大都市からの流入人口により図 3 に見られるように急増し、昭和 55 年には 12 万人になったとする。その結果、どのような市街地(人口集中地区)が形成されたと想定されるか、旧市街地・地形・鉄道駅との関係が分かるような形に略図で示せ(但し、増加人口のほとんどは、鉄道を利用して大都市へ通勤する世帯であるものとして、昭和 55 年の人口集中地区の平均人口密度は、8000 人/㎢とする)。解答は解答用紙の枠内(14×14 ます分)を用い、解答用紙の 2 ます分の長さを 1km として描け。

[東大 1985 年]

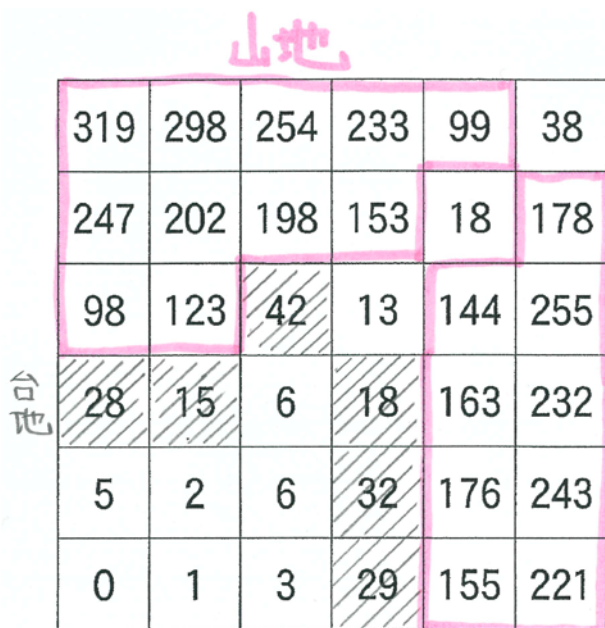
この問題は、「8000 人/㎢」のデータを無視すると失点してしまうやっかいな問題です。細かい図の掲載は控えますが、総人口 12 万人の都市があり、平

# 強者の戦略

均人口密度が 8000 人なので、 $12000 \div 8000 = 15 \text{ km}^2$  ぐらい人口集中地区が広がっていることになります。解答用紙の枠が  $14 \times 14$  で、2 マスが 1km なので、 $7 \times 7$  の枠があったとしたら、そのマス目の 15 マス分ぐらいを塗らなければなりません。

上記の問題ほど面倒ではありませんが、今回の問題も計算が必要です。縦横共に  $500\text{m} \times 6 = 3\text{km}$  なので、面積は  $9 \text{ km}^2$  になります。人口は  $65 \times 100 = 6500$  人です。よって、 $6500 \div 9 = 722.2222 \dots \div 722 \text{ 人/km}^2$  となります。限られた時間の中で焦りもあるでしょうが、ここはゆっくりと計算してミス無く点数を獲得したい問題です。

(3) 何となく解答の流れは分かるでしょうが、駄目を押す形で丁寧に書くことにしました。図 1-3 で、山地をピンクの蛍光ペンで塗り、恐らく台地であろうと思われる部分を鉛筆の斜線で塗ってみました。さらに、同様の部分を図 1-4 にも書いてみました。



標高 (m)

図 1-3

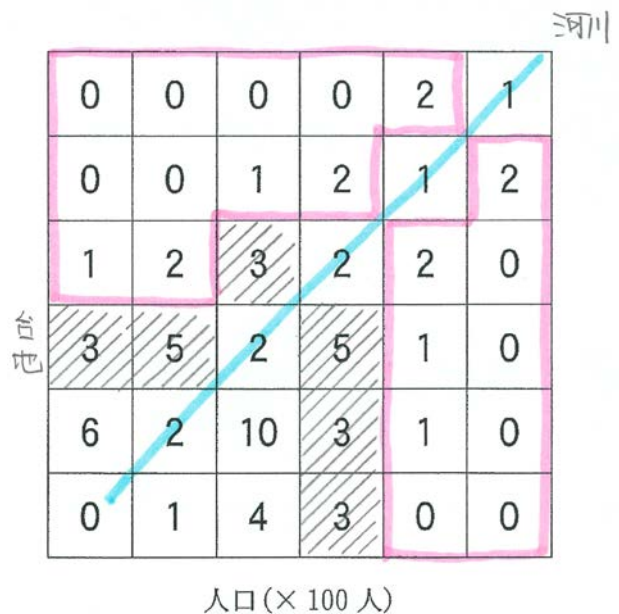


図 1-4

こうして見てみると、色んな解答が成り立ちそうな気がします。まず、こういう問題の場合は、**人口が稠密な地域と希薄な地域の 2 つに分けて考えましょう**。山地は傾斜が厳しく、商業施設などの立地も難しくなるため人口が希薄な地域となっています。

他方、書き方が難しいのが人口稠密地域です。「数値 10」のマスの触れないわけにはいきませんよね。東側の台地の崖下の湧水帯に当たるため、伝統的な家屋が多く建ち並んでいると考えることができます。ですが、中央部の河川に堤防が建設されて、河川付近の沖積低地でも住めるようになり**新興住宅地が建設された**とも考えられます。河川の西部の「数値 6」のマスも同様な状況かと思います。

斜線部分の台地は、水害を避けるという言い方でも、新興住宅地が開発されてという言い方でも人口分布を書くことはできます。

流路に沿った「数値 2」のマスは**自然堤防上で水害を避けるために伝統的な家屋が建設されている**と言えるでしょう。

なので、この問題で東大は画一的な解答を求めているのではなく、どれだけ理路整然として人口分布を書けるかを試しているのだと思います。東大の出

# 強者の戦略

題意図が明確に表れた良問だったと思います。

次回も東大の 2019 年度の問題を解説するつもりです。それまでにしっかり頑張って実力を上げておいてくださいね！